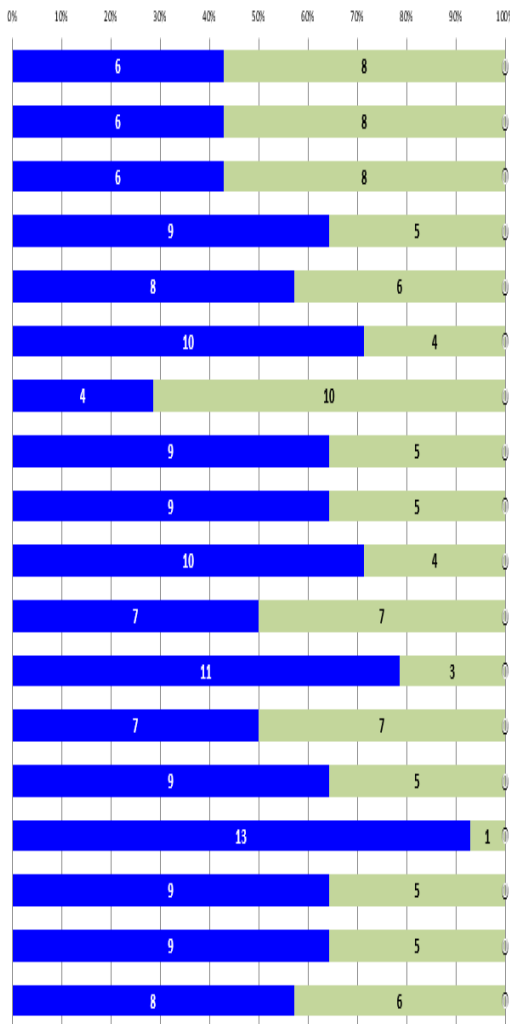
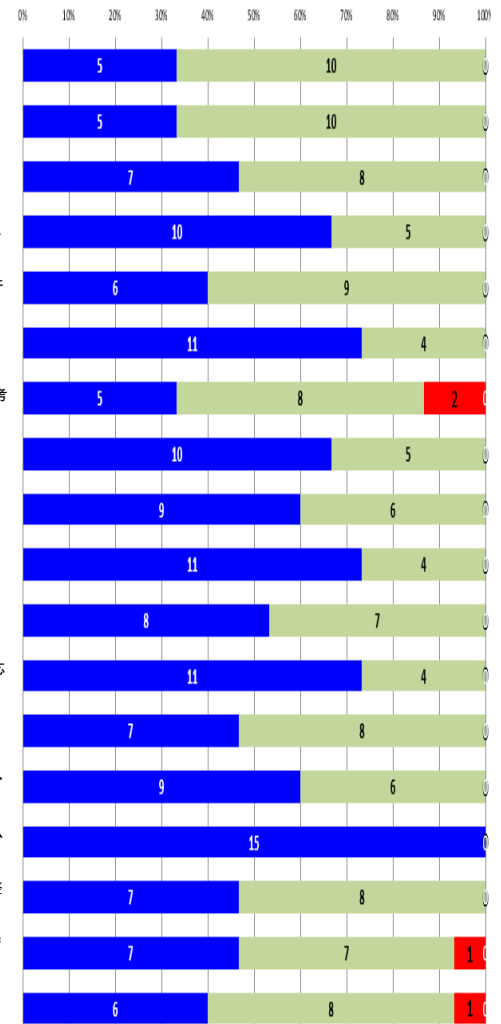


## 令和7年度 教員学校評価

1学期(教員)



2学期(教員)



### 【考察】

■あてはまる ■ほぼあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

- 1学期と比較して、「あてはまる」の回答数の変動はどの項目も－2～＋2の間に収まっているが、「あてはまる」を選択している先生が減っている項目が多い。
- 2学期は、**項目7の「キャリア教育」**、**項目17、18の「小中連携」**で「あまりあてはまらない」と感じている先生がいた。1学期に小学校の先生が授業参観に来られ、それ以降、学校として一緒に何かをする機会が無かった。1月の小中合同研修会では、小学校の授業参観後、話合いの時間を設けて、情報共有していきたい。
- **項目7の「キャリア教育」**は、1学期も低い項目だった。3年生は高校進学に向けて、進路学習が充実している。2年生は職場体験学習を行ってから期間が空き、1年生はそのような時間があまり取れていない。道徳の授業でも、キャリア教育を取り扱った題材があるため、教員がねらいを意識して授業を行うことで変わってくると思う。また、3年生が受験の時期になったため、1・2年生も高校に対する興味関心が高まってきている。3学期に、自分の将来の夢や進路を意識して高校調べ等を行い、キャリア教育を充実させたい。
- 高中祭で3年生が人権劇を行ったが、**項目5の「人権・同和教育」**は下がっている。本校は人権参観日がなく、同和問題を取り扱う機会が少ない。来年度は人権参観日を行い、学校として人権・同和教育に力を入れていきたい。